

平成28年7月26日
 発行：北九州市
 私立保育園連盟
 青年会議
 発行人：山本 博文
 編集人：伊賀 良昌宏
 鷲峰 康尚
 橋原 法道
 山崎 公博
 黒田 摂

青空通信

《青年会議 会長挨拶》

山本 博文(別所保育園)

四月十四日午後九時頃、熊本県を震源とした震度七の強い地震が二度発生し、その後も九州の広い範囲で余震が長期に渡り続いております。

私たち北九州市私立保育園連盟青年会議は、発生直後にメールやSNSなどを通じて現地からの情報を収集し、九州青年保育者や全国各地の青年会議の仲間と連絡を取りあい、被災状況を伝えると同時に支援物資の協力を呼びかけました。

交通状況などを考慮し、熊本市東区にある『認定こども園やまなみ』山崎園長先生の施設を拠点に水や食料、日用品などの支援物資を搬送し、熊本の各保育園へ届けられました。

その後、交通規制により東京からの支援物資が送れないことから、東京民間保育園協会青年委員会より約二トンを超す支援物資が当園に届き、これらの支援物資もまた熊本の各保育園に届けられ支援の輪が広がりました。

また、七月四〜六日に開催されました『第五十九回全国私立保育園研究大会東京大会』においても全国の青年会議の仲間と募金活動を行い、東京大会に参加された北九州市の先生方にもご協力をいただき、約六十万円もの尊い義援金が集まりました。多くの皆様のあたたかい

ご協力で、心より感謝申し上げます。

同じく、保育三団体協議会・九州保育三団体協議会でも支援募金活動が行われております。また、今後の研修大会などでも青年会議で募金活動を行ってまいりますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、この震災でお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表し、今なお困難な状況におられる被災者の方々に心よりお見舞い申し上げます、一日も早く心からの笑顔が戻りますようお願いいたします。



《活動報告》

七月二十七日	市議会議員との勉強会
八月二日	わっしょい百万夏祭り
八月二十七日	市議会議員との勉強会
九月八〜九日	第二回九州保育三団体 青年部協議会研修会 長崎大会
十月二十一 〜二十二日	青年会議視察研修会
十一月九日	全私保連青年会議 九州ブロック 熊本大会
十一月二十五 〜二十六日	全私保連青年会議 徳島大会
十二月十七日	保育課との勉強会
二月五日	北九州市・福岡県・福岡市 青年保育者 合同研修会
二月二十日	研修会及びOBI会
二月二十三日	青年会議 第十一回特別セミナー
三月二十九日	平成二十八年年度 予算総会
四月二十八日	平成二十七年年度 決算総会
七月四〜六日	全国私立保育園研究大会 東京大会
七月二十 〜二十二日	九州保育三団体研究大会 北九州大会
毎月	例会

【市議会議員との勉強会】

（日 程）平成二十七年七月二十七日

（場 所）北九州市立商工貿易会館

昨年引き続き、本年度は二回にわたり北九州市市議会議員の方々との意見交換会を行いました。

及び八月二十七日

まず本年度から始まった新制度については◎短時間保育認定が必要であるのか◎事務作業、書類の煩雑化◎短時間認定は同一配置基準であるにもかかわらず給付費減額となることの影響◎機械的に行われる利用調整システムの不利益◎兄弟入所についての問題点◎転園についての問題点などが挙げられました。

次に、小規模保育事業について、補助金制度の更なる拡充や、財源内での保育の質の確保の問題点が挙げられました。

最後には保育士不足の問題について、賃金処遇の改善、職員資質の向上、実際の勤務環境についての意見が取り交わされました。

その他、話題は多岐に渡りましたが、保育園各園の諸問題について、青年会議としての意見を述べ、また様々な立場の市議会議員の方々との意見を交換することができるとなりました。

花園保育園 伊賀良 昌宏

【わっしょい百万夏祭り】

（日 程）平成二十七年八月二日

（場 所）北九州市役所前

八月二日、毎年恒例のわっしょい百万踊りが開催され、今年も保育所連盟のサポート役として、

青年会員もハッピー姿で参加しました。青年会議一同も北九州市民として楽しく参加することができました。

【第二回九州保育三団体

青年部協議会研修会 長崎大会】

（日 程）平成二十七年九月八～九日

（場 所）ホテルニュー長崎

平成二十七年九月八日から九日の二日間にわたり、第二回九州保育三団体青年部協議会研修会が行われました。「不易流行く漕ぎ出せ。越える変革の波！目指せ普遍的保育！〜」というテーマのもと長崎市のホテルニュー長崎にて研修会が行われ、北九州からは十一名の青年会議メンバーが参加しました。

一日目の研修会では厚生労働省社会・援護局福祉基盤課社会福祉法人事業推進専門官 塩野



勝明氏による行政説明として「社会福祉法人改革について」説明して頂き、その後、全国私立保育園連盟青年会議 会長 三木充信氏と日本保育協会青年部 全国部長 吉岡伸太郎氏による鼎談が行われました。

二日目の研修会では多摩

川保育園 園長 妹尾正教氏、

ROSHOKIDS.キッズらり 園長 坂本喜一郎氏、長崎県

保育協会青年部会 副会長 伊藤勝氏による、シンポジウムが行われ「子ども主体の共同的な学びが生まれる保育」について学びました。

今回の研修会で九州の三つの団体が一つになり、九州の青年保育者が一つになって、これからの保育の問題、そして保育のビジョンを研鑽することができました。

浅川保育園 上原剛

【全私保連青年会議

九州ブロック 熊本大会】

（日 程）平成二十七年十一月九日

（場 所）熊本ホテルキャッスル

十一月九日、熊本ホテルキャッスルで大会が行われました。



今年度よりいよいよ保育新制度がスタートして、保育界も大きく変革の時代を迎える中で、今回は社会福祉法人制度改革とマイナンバー制度の大きく二つに関することを参議院議員である松村祥史氏から教えていただきました。

社会福祉法人制度改革については、評議員制度に関する仕組みや動向に関する内容でした。また、マイナンバー制度については、制度改革の理念や概念に加えて、実務に関する様々な情報など多岐にわたる内容でした。

大浜保育園 田中敏也

【全私保連青年会議 徳島大会】

（日 程）平成二十七年十一月二十五～二十六日

二日間にわたり徳島市で行われた「第三十五

回(公社)全国私立保育園連盟青年会議 とくしま大会」に参加させていただきました。

大会一日目は、今大会のキーワードでもある「自然×ぞめき」く学ぶ阿保に 見る阿保 同じ阿保なら 学ばにや損々々に 准え、内閣府子ども・子育て本部参事官(子ども・子育て支援担当)付 企画官 川鍋 慎一の行政説明に始まり、大会では五つの分科会が用意されていました。私は第三分科会「子どもを信じること」く子どもの生きる力を育てる親の関わり方とはくに参加させていただき講師の田中 茂樹 氏(医師 臨床心理士)より、保育者として考えさせられる、問題が出ている子ども親には、状況や深刻さはさまざまであっても、いくつかの似通った特徴があるということ、子どもの問題はさまざまでも、親のとるべき方法はほとんど同じだということのお話がありました。その後、他県の先生方とのグループワークに移行し、各園の子どもたちについて、保護者との関わり方などブレイン・ストーミングすることで、大変意義深い研修となりました。

大会二日目は、平野 弘和 氏(公社)全国私立保育園連盟(常務理事)より、子ども・子育て支援新制度についてお話があり、社会保障・税一体改革、社会福祉法人制度改革、幼児教育の振興について、保育三団体協議会の取り組み、処遇改善等加算について、また新たに生まれた課題を整理し、解決のために全会員のまとまりと結末、そして保育三団体との連携が必要になることなどのお話があり、個人だけでなく団体としての結束もより強くしていかなければならないと感じました。

記念講演では東京大学名誉教授の養老 孟司氏より、「養老流 子育て論」く時代とともに変わりゆくもの、変わらないものくと題したご講演をいただき、自身の生涯についてお話しされこれからの子どもたちの関わり方や育て方について講演され自身の保育者として在り方を再確認することができたように思います。

今回のとくしま大会を通して、講師の方や、他県の先生方との交流をすることで、あらためて自園の取り組み等、考え直したり、見直していく良い機会になりました。もう一度、自園の取り組み、自分の保育観を見つめ直していきたいと思えます。

本城西保育園 橘原 法道

【保育課との勉強会】

〈日程〉平成二十七年十二月十七日

〈場所〉北九州市役所会議室

〈内容〉青年会議と保育課との勉強会を開催しました。まずまっさきに保育士の確保について市の立場からポスターなどでの就職支援について話がありました。その次に保育士の処遇改善について、子育て支援制度や小規模保育事業など多岐にわたり勉強させて頂きました。

れんげの花保育園 黒田 撰

【北九州市・福岡県・福岡市

青年保育者 合同研修会】

〈日程〉平成二十八年二月五日

〈場所〉ホテルニュータガワ小倉

〈内容〉二月五日、青年保育者合同研修会がホテルニュータガワ小倉に於いて開催されました。

第一部の「各地域の保育を考える」では、北九州市・福岡県・福岡市の各青年保育者の代表より、各地域の補助金をはじめとする保育所運営の現状報告があり、その後は参加者全員による意見交換を行いました。意見交換では、会場より各地域代表者への積極的な質問が飛び交い、これまでにない有意義な研修となりました。



また、第二部では「子どもたちの大きな夢を育む」と題し、元Jリーグ・アカデミープロジェクトリーダーの山下則之氏による講演があり、Jリーグの発展のみならず、地域の発展・地域の子どもの

ち成長をも含めた支援活動のお話しをいただき、現在そして未来へとつながるJリーグ百年構想の取組を紹介頂きました。

今回、この合同研修会に参加し、第一部では、これまでではなかなか他地域の実情や取組を知る機会が少なく、今の北九州市の実情を測る上でも貴重な場となりました。また、第二部では、Jリーグの百年構想の取り組みの話ではあったが、自園や地域との関わり方におけるヒントがたくさんあり、この講演を参考に今後の自園のあり方について考えていきたいと思えます。

木屋瀬保育園 鷲峰 康尚

【研修会及びOB会】

〈日程〉平成二十八年二月二十日

〈場所〉八雲亭

青年部OBの諸先輩方と年一度の懇親会が開催されました。

青年部も再発足より二十数年が経ち、OBの諸先輩方に青年部の歴史を教わったり紐解いたり楽しい時間を過ごさせて頂きました。最後に記念撮影をし、会を締めました。



【青年会議 第十一回特別セミナー】

（日 程）平成二十八年二月二十三日

（場 所）浅草ビューホテル

今回の第十一回特別セミナーは、「リーダーの視点く果たすべき役割とこれからの広報戦略！」のテーマのもと行われました。

第一部は「保育の質を高める人材育成」という演題で岡崎女子大学の矢藤誠慈朗教授よりリーダーの役割は、自分の正解を押し付けて再現させようとせず、保育者が日々の実践や研修などを通じて自ら考え試行錯誤できるように支え、人と組織が育つよう辛抱強く取り組んでいくことが重要であると講演がありました。

第二部は、パネルディスカッションでコーディネーターとして引き続き矢藤誠慈朗教授、パネリスト



として、りとるばんぶきんずグループ統括園長の大江恵子氏、(株)保育のデザイン研究所代表取締役の瀬木葉子氏、な

ごみこども園園長の志賀口大輔氏、全私保連青年会議副会長の脇淵竜舟氏より、リーダーの視点とこれからの広報戦略についてそれぞれの思いを語られていました。中でも志賀口氏の保育の多機能化で四つの機能が一体となった複合施設（小規模保育事業・子育て支援機能・カフェ・おもちゃと絵本の販売）地域に憩いの場を提供することで、園の活動内容を広報出来ることを聞かせて頂きました。

今回の研修を通して、講師の方や、パネリストの先生方の発想や広報戦略を聞くことができ、自園の取り組みを見直し改善していく良い機会になりました。

こじか保育園 山崎 公博

【平成二十八年年度 予算総会】

（日 程）平成二十八年三月二十九日

（場 所）レインボープラザ5階会議室

（参加）十六名(他に委任状一名)

三月二十八日、レインボープラザにおいて、平成二十七年年度青年会議の総会が行われました。当日議長には、大浜保育園・田中先生を選出し、円滑に議事が進められ、無事平成二十八年年度事業計画・予算を議決することができました。

【平成二十七年年度 決算総会】

（日 程）平成二十八年四月二十八日

（場 所）レインボープラザ5階会議室

（参加）十五名(他に委任状0名)

四月二十八日、レインボープラザにおいて、平成二十七年年度青年会議の総会が行われました。当日議長には、れんげの花保育園・黒田先生を選出

し、円滑に議事が進められ、無事平成二十七年年度事業報告・収支決算を議決することができました。また、本年度も北九州市内保育関係者の皆様にはいろいろとご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、青年会議一同より充実した研究会・例会を行ってまいりたいと思います。

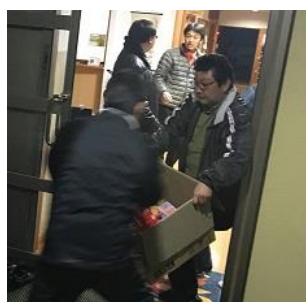
【熊本地震における支援活動について】

熊本地震発生直後より、青年会議内でもメールやSNSなどを通じて、支援物資を集め、四月十八日には、熊本へ支援物資を届けてまいりました。

また、全国私立保育園研究大会等においても全国の青年保育者と共に募金活動を行い、



更には今後の各大会等においても一時的な活動に終わらず、出来る限りの募金等の支援活動を続けていきたいと思えます。



（編集後記）

四月になり、新年度が始まりました。昨年度は新制度元年ということもあり、バタバタとわからないままでのスタートだったなあと思いついておられます。しかし、まだまだ二年目、これからも研修を通して勉強していきたいと思えます。